

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市泉中央老人福祉センター
2	指定管理者	宮城県高齢者生活協同組合
3	指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日
4	施設の利用状況	<p>《利用者数》</p> <p>平成30年度 34,142人 (前年度比 99.2%) 平成29年度 34,428人 (前年度比 108.1%) 平成28年度 31,844人 (前年度比 86.6%)</p> <p>《事業》趣味の教室 (21教室122回)、センター祭 (年1回)、世代間交流事業 (4回、延べ80人)、女性麻雀大会 (年1回、延べ32人)、囲碁交流戦 (年1回、延べ33人)、映画上映会 (年12回、延べ202人)、いきいきお茶会 (年11回、延べ157人)、春コンサート (年1回、延べ136人)、七夕飾り作り、節分祭、冬支度芋煮会 (年1回、延べ45人)、寄席 (年1回、延べ41人)、ギター演奏会 (年1回、延べ11人)、防災訓練 (年2回)、森の泉サロン (年12回、延べ592人)、AED講習会 (年1回)、知って安心講座 (11回、延べ179人)、嬉楽嬉楽くらぶ (30回、延べ836人)、マッサージ体験 (24回、延べ359人)</p>
5	収支の状況	<p>《費用》</p> <p>指定管理者に支払った費用 27,842千円 (27,792千円) ()は前年度決算額</p> <p>その他市が負担した費用 1,804千円 (8,897千円)</p> <p>《収入》</p> <p>使用料収入 0千円 (0千円)</p> <p>その他収入 0千円 (0千円)</p>
6	利用者の声	<p>《実施状況》</p> <p>センター独自アンケート (1回)</p> <p>「趣味の教室」「自主事業」アンケート (28回)</p> <p>サポート会 (3回)、愛好会代表者会議 (2回)、第三者委員会 (2回)</p> <p>を開催し、利用者の声を把握すること及び、対策が必要な事項については迅速に対応できるよう毎朝と夕にスタッフミーティングを実施し情報の共有を図る。</p>

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	老人福祉センターの設置目的を踏まえた基本方針に基づき施設運営がなされており、職員も設置目的を適切に理解している。 また、利用者健康づくりや、公平・公正な利用、高齢者の特性を理解したうえでの心身への配慮に努めるなど、利用者本位の施設運営を行っている。	33/33
II 施設の運営管理体制	必要数の職員が配置されており、各職員は他の職員の業務状況を把握している。経理処理も書類作成など適正に行われている。 また、個人情報の漏洩や滅失を防止するため、管理責任者を定めるとともに職員への周知等、意識啓発も行うなど、個人情報保護に対する体制を整えている。 事故や災害の発生に備え、地域との連携や連絡体制、職員の役割分担を予め決めているなど、対応体制を構築している。	24/24
III 施設・設備の維持管理	利用者の安全・安心・快適な利用を維持するため、施設内外の清掃を適切に行い、事故防止のための館内巡回も行われている。 また、世代間交流事業でゴミ減量に関するイベントを行うなど、ゴミ発生の抑制のほか、節電やグリーン購入を実施するなど、環境に配慮した施設運営を行っている。	24/24
IV サービスの質の向上	利用者が気持ちよく利用できるよう、丁寧な応対と分かりやすい説明を心がけている。 また、毎月のセンターだより発行や掲示板の活用、毎日の状況をブログで公開するなど、利用者への情報提供や施設のPRも積極的に行っている。 さらに、利用者の意見や苦情に対し、その対応手順や担当者を明確にするとともに、利用者アンケートを年1回実施してニーズを把握するなど、利用者の意見を反映した施設運営に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	高齢者が自ら学んだことを発表する機会の設定を積極的に行っており、利用者の主体的な企画実施に対する支援も行っている。 また、利用者の代表者で構成する委員会を立ち上げ、利用者が施設運営に関わる仕組みづくりに努め、利用者の意見を取り入れた企画の立案を行っている。	9/9

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み	評価すべき理由
加点評価	—

四 評価総括

《指定管理者（宮城県高齢者生活協同組合）による自己評価》
<p>【老人福祉センターがいつでも気軽に利用でき「仲間を作れる場」「健康づくりの場」「お互いの健康を喜びあえる場」「社会に役立つ場づくり」の役割を持って「元気発信」の拠点となる運営を担う】を活動理念に掲げ運営しています。</p> <p><利用者の様々な相談を聞く「相談業務」> 必要な生活相談、健康相談を聞き、必要に応じ適切なサービス利用を紹介します。また利用者の加齢に伴う様々な衰えを地域包括支援センター、民生児童委員と情報を共有しながら適切なサービスに繋げる事例も年々増えており、全職員が利用者に変化がないかセンターでの様子を見守り続けています。</p> <p><教養の向上・健康の増進「趣味の教室」・「自主事業」・「介護予防事業」> 教室の企画は毎年利用者アンケートなど利用者の声を検討し、要望の多いものは開催に向け尽力します。教室で学んだ成果は「センター祭」で発表し利用者の生きがい活動に繋がります。教室から生まれたサークル活動の発表会や地域活動(ボランティア)も支援しています。介護予防事業では楽しみながら健康づくりのできる企画に多くの講師、団体の協力を得て開催しています。</p> <p><「社会に役立つ場づくり」> 利用者の人生経験を生かし、教室で講師を務めていただいたり、センター祭や各事業の実行委員として参加いただいています。また、「草刈り」「大掃除」「季節行事」などにボランティアとして参加するなど、利用者が、主体的に参加できる環境作りに努めています。また、中学生職場体験学習で繋がった中学校へセンター事業へのボランティア参加を呼びかけ、3年生になった中学生が社会体験活動として参加し地域との繋がりを広げています。</p> <p>センター運営としては職員の役割を明確に、各自業務内容を把握しています。個人情報取り扱いに関する職員への周知、利用者サービスの向上、事故発生時の対応や災害時の職員の役割分担を決め不測の事態に備え訓練しています。 今後も元気高齢者の生きがい活動の拠点となるセンターであり続けること、また、七北田という地域に根差した地域住民の顔が見える、身近な存在であるセンターを目指します。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>平成30年度の管理運営について、協定書及び仕様書に従って適切・良好に行われた。</p> <p>利用者が持つ特技を生かし、教室で講師を務めてもらうことや、ボランティアの場の提供を行い、利用者主体の施設運営に努めており、また市の実施するアンケートのほか、各教室や行事終了後にアンケートを実施し、得られた意見は講師に伝えるなど、改善の努力を行っている。</p> <p>このほか学習の受け入れや遊びの伝承などによる世代間交流にも積極的に取り組んでおり、ホームページも頻繁に更新するなど意欲的な運営に取り組んでおり、総合的に高く評価できる。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：健康福祉局保険高齢部高齢企画課